



CASBEE横浜2017年版v.1.3  
オーベル藤が丘

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.3

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	重点項目 <非住宅> <集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
		Q 建築物の環境品質		-	-	-	-	3.0
Q1 室内環境		0.40				3.4		
1 音環境		3.0	0.15	2.9	1.00	2.9		
1.1 騒音		3.0	1.00	3.0	0.50	-		
1.2 遮音		-	-	2.8	0.50	-		
1 開口部遮音性能		-	-	3.0	0.30	-		
2 界壁遮音性能		3.0	-	3.0	0.30	-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	2.0	0.20	-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20	-		
1.3 吸音		3.0	-	3.0	-	-		
2 温熱環境		2.0	0.35	4.0	1.00	3.5		
2.1 室温制御		3.0	0.50	4.0	1.00	-		
1 室温	快適・働きやすさ ⑨温熱環境	3.0	0.63	-	-	-		
2 外皮性能	快適・働きやすさ 健康・安心 ⑨温熱環境 ⑤外皮性能	3.0	0.38	4.0	1.00	-		
3 ソーン別制御性	快適・働きやすさ ⑨温熱環境	3.0	-	-	-	-		
2.2 湿度制御	快適・働きやすさ ⑨温熱環境	1.0	0.20	-	-	-		
2.3 空調方式	快適・働きやすさ ⑨温熱環境	1.0	0.30	-	-	-		
3 光・視環境		2.4	0.25	4.0	1.00	3.6		
3.1 屋光利用		1.8	0.43	4.0	0.50	-		
1 屋光率	快適・働きやすさ ⑩光環境	1.0	0.60	5.0	0.50	-		
2 方位別開口	快適・働きやすさ ⑩光環境	-	-	3.0	0.30	-		
3 屋光利用設備	快適・働きやすさ ⑩光環境	3.0	0.40	3.0	0.20	-		
3.2 グレア対策		-	-	4.0	0.50	-		
1 屋光制御	快適・働きやすさ ⑩光環境	-	-	4.0	1.00	-		
3.3 照度	快適・働きやすさ ⑩光環境	3.0	0.21	-	-	-		
3.4 照明制御	快適・働きやすさ ⑩光環境	3.0	0.36	-	-	-		
4 空気質環境		4.0	0.25	3.3	1.00	3.5		
4.1 発生源対策		4.0	0.60	4.0	0.63	-		
1 化学汚染物質	快適・働きやすさ ⑪空気質環境	4.0	1.00	4.0	1.00	-		
4.2 換気		4.0	0.40	2.3	0.38	-		
1 換気量	快適・働きやすさ ⑪空気質環境	3.0	0.50	3.0	0.33	-		
2 自然換気性能	快適・働きやすさ ⑪空気質環境	3.0	-	3.0	0.33	-		
3 取り入れ外気への配慮	快適・働きやすさ ⑪空気質環境	5.0	0.50	1.0	0.33	-		
4.3 運用管理		-	-	-	-	-		
1 CO <sub>2</sub> の監視	快適・働きやすさ ⑪空気質環境	3.0	-	-	-	-		
2 喫煙の制御	快適・働きやすさ ⑪空気質環境	3.0	-	-	-	-		
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	3.2		
1 機能性		3.6	0.40	3.2	1.00	3.2		
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	4.0	0.60	-		
1 広さ・収納性	快適・働きやすさ ⑫機能性	3.0	-	3.0	-	-		
2 高度情報通信設備対応	快適・働きやすさ ⑫機能性	3.0	-	4.0	1.00	-		
3 バリアフリー計画	快適・働きやすさ ⑫機能性	3.0	1.00	-	-	-		
1.2 心理性・快適性		4.0	0.30	2.0	0.40	-		
1 広さ感・景観	快適・働きやすさ ⑫機能性	3.0	-	3.0	0.50	-		
2 リフレッシュスペース	快適・働きやすさ ⑫機能性	3.0	-	-	-	-		
3 内装計画	快適・働きやすさ ⑫機能性	4.0	1.00	1.0	0.50	-		
1.3 維持管理		4.0	0.30	-	-	-		
1 維持管理に配慮した設計	快適・働きやすさ ⑫機能性	4.0	0.50	-	-	-		
2 維持管理用機能の確保	快適・働きやすさ ⑫機能性	4.0	0.50	-	-	-		
2 耐用性・信頼性		3.1	0.30	-	-	3.1		
2.1 耐震・免震		3.0	0.50	-	-	-		
1 耐震性	防災 ⑬耐震・免震	3.0	0.80	-	-	-		
2 免震・制振性能	防災 ⑬耐震・免震	3.0	0.20	-	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数		3.5	0.30	-	-	-		
1 躯体材料の耐用年数	防災 ⑭部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.20	-	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	防災 ⑭部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.20	-	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	防災 ⑭部品・部材の耐用年数向上	4.0	0.10	-	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	防災 ⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	防災 ⑭部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.20	-	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔	防災 ⑭部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.20	-	-	-		
2.4 信頼性		3.0	0.20	-	-	-		
1 空調・換気設備	防災 ⑮信頼性	3.0	0.20	-	-	-		
2 給排水・衛生設備	防災 ⑮信頼性	2.0	0.20	-	-	-		
3 電気設備	防災 ⑮信頼性	3.0	0.20	-	-	-		
4 機械・配管支持方法	防災 ⑮信頼性	3.0	0.20	-	-	-		
5 通信・情報設備	防災 ⑮信頼性	4.0	0.20	-	-	-		
3 対応性・更新性		3.0	0.30	3.4	1.00	3.3		
3.1 空間のゆとり		-	-	3.8	0.50	-		
1 階高のゆとり		3.0	-	5.0	0.60	-		
2 空間の形状・自由さ		3.0	-	2.0	0.40	-		
3.2 荷重のゆとり		3.0	-	3.0	0.50	-		
3.3 設備の更新性		3.0	1.00	-	-	-		
1 空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	-		
2 給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	-		
3 電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	-		
4 通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	-		
5 設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	-		
6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	-		



CASBEE横浜2017年版v.1.3  
オーベル藤が丘

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.3

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	重点項目 <非住宅> <集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
						<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>		
1 生物環境の保全と創出	地域・まちづくり ⑩生物環境の保全と創出	2.0	0.30	-	-	-	-	2.1
2 まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり ⑨まちなみ・景観への配慮	2.0	0.40	-	-	-	-	2.0
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>								
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	地域・まちづくり ⑫地域性への配慮	2.0	0.50	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	快適・働きやすさ ⑭敷地内温熱環境の向上	3.0	0.50	-	-	-	-	-
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>								
<b>LR1 エネルギー</b>								
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>								
1 建物外皮の熱負荷抑制	省エネルギー性能 ①建物の熱負荷抑制	4.0	0.20	-	-	-	-	4.0
<b>2 自然エネルギー利用</b>								
2 自然エネルギー利用	省エネルギー性能 ②自然エネルギー利用	3.0	0.10	-	-	-	-	3.0
<b>3 設備システムの高効率化</b>								
3 設備システムの高効率化	省エネルギー性能 ③設備システムの高効率化	4.6	0.50	-	-	-	-	4.6
<b>4 効率的運用</b>								
集合住宅以外の評価								
4.1 モニタリング	省エネルギー性能 ④効率的運用	3.0	-	-	-	-	-	-
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能 ④効率的運用	3.0	-	-	-	-	-	-
集合住宅の評価								
4.1 モニタリング	省エネルギー性能 ④効率的運用	3.0	1.00	-	-	-	-	-
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能 ④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-	-	-
<b>LR2 資源・マテリアル</b>								
<b>1 水資源保護</b>								
1 水資源保護		3.0	0.20	-	-	-	-	3.0
1.1 節水		3.0	0.40	-	-	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	-	-	-
1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	-	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	-	-	-
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>								
2.1 材料使用量の削減		2.0	0.10	-	-	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		5.0	0.20	-	-	-	-	-
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>								
3 汚染物質含有材料の使用回避		3.3	0.20	-	-	-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避		3.5	0.70	-	-	-	-	-
1 消火剤		-	-	-	-	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)		4.0	0.50	-	-	-	-	-
3 冷媒		3.0	0.50	-	-	-	-	-
<b>LR3 敷地外環境</b>								
<b>1 地球温暖化への配慮</b>								
1 地球温暖化への配慮		4.0	0.33	-	-	-	-	4.0
<b>2 地域環境への配慮</b>								
2 地域環境への配慮		2.9	0.33	-	-	-	-	2.9
2.1 大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制		2.7	0.25	-	-	-	-	-
1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	-	-	-
2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-	-	-
3 交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25	-	-	-	-	-
<b>3 周辺環境への配慮</b>								
3 周辺環境への配慮		3.2	0.33	-	-	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	-	-	-
1 騒音		3.0	1.00	-	-	-	-	-
2 振動		-	-	-	-	-	-	-
3 悪臭		-	-	-	-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	-	-	-
1 風害の抑制		3.0	0.70	-	-	-	-	-
2 砂塵の抑制		3.0	-	-	-	-	-	-
3 日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	-	-	-
3.3 光害の抑制		4.0	0.20	-	-	-	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		4.0	0.70	-	-	-	-	-
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		4.0	0.30	-	-	-	-	-
<b>上記以外の重点項目</b>								
<b>&lt;事務所用途&gt;</b>								
知的生産性向上への取組								
知的生産性向上への取組	快適・働きやすさ ⑬知的生産性向上への取組	-	-	-	-	-	-	-
<b>&lt;住宅用途&gt;</b>								
<b>健康と安心</b>								
1 化学汚染物質の対策	健康・安心 ⑥健康対策	5.0	-	-	-	-	-	-
2 適切な換気計画	健康・安心 ⑥健康対策	3.0	-	-	-	-	-	-
3 結露・カビ対策	健康・安心 ⑥健康対策	3.0	-	-	-	-	-	-
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)	健康・安心 ⑦防犯対策	4.0	-	-	-	-	-	-